

令和2年度 経済環境部 農地利用担当部長の目標宣言

部長メッセージ	経済環境部 農地利用担当部長 萱場 哲
<p>本市は、市域の約2割を農地が占めており、温暖な気候と首都圏近郊都市という立地条件を生かし、水稻、野菜、果樹、畜産など多種多様な農業生産活動が営まれています。</p> <p>その一方で、農業従事者の高齢化や担い手不足、有害鳥獣による農業被害等を要因として、農家数の減少や荒廃農地の増加等が懸念されています。</p> <p>このため私は、地域の担い手の育成や新規就農者への支援等を推進するとともに、地域と一体となった鳥獣被害対策に取り組み、農業を継続的に営むことができる環境を整えてまいります。</p> <p>また、令和2年3月に新東名高速道路「伊勢原大山インターチェンジ」が開通するなど、市域において広域幹線道路の整備が進む中、農林業と他産業との調和のとれた土地利用の構築に向け、都市部局と連携して取り組むとともに、農畜産物を市内外に対し効果的にPRし、本市の重要な産業である農業の一層の振興を図ってまいります。</p> <p>これらにより「第5次総合計画後期基本計画」及び「中期戦略事業プラン」の取組を進めます。</p>	
部等の主な役割	部等を構成する課等
・ 農業振興施策の実施	農業振興課

部等の取組方針	
1	<p>【各種施策の実施を通じて力強く持続可能な農業の確立を図ります】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 優良農地の保全と担い手の育成・確保を図るため、人・農地プランの実質化を図り、農地の集積・集約化を促進するとともに、新規就農者の経営確立支援等を行います。 ・ 有害鳥獣による農業被害の軽減と人身被害の未然防止等を図るため、捕獲、防護柵の設置、集落環境整備等の被害防除対策に地域とともに取り組みます。 ・ 本市の農業を活性化し、農業所得の向上を図るため、農畜産物及び加工品の高付加価値化や、地域ブランド「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」のPR等に取り組みます。
2	<p>【農林業と他産業との調和のとれた土地利用を推進します】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伊勢原大山インターチェンジ周辺地区における産業系市街地形成に向けた取組を踏まえ、当該地区の営農及び市全域の農業振興への影響等に配慮しつつ、計画的な土地利用を図るための手続きを進めます。

中期戦略事業プラン(計画期間:平成30年度～令和2年度)「主な事業」の目標値

事業番号	主な事業	事業指標	当初水準	平成30年度実績値	令和元年度実績見込値	令和2年度目標値	所管課
23-102	農業経営基盤強化対策事業	荒廃農地面積	4.9ha (平成29年度)	7.2ha	21.0ha	3.4ha	農業振興課
23-103	有害鳥獣対策事業	野生動物による農作物等の被害額	24,878千円 (平成28年度)	19,111千円	24,000千円	18,136千円	農業振興課
23-104	農畜産物ブランド化推進事業	いせはらブランド選定数	35品目 (平成29年度)	74品目	78品目	40品目	農業振興課

※令和2年度の目標値は、計画策定時(平成29年度)に設定した数値です。

なお、中期戦略事業プランは、令和2年度に改訂します。